

令和8年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（春季）

東洋法制史

問題：以下の4問から2問を選択して日本語で解答してください。

（必要であれば、図表等を描いて説明して頂いても構いません。）

①清代中国・台湾地域において展開した一田両主や大租・小租等の重層的な土地関係について説明し、それが近代法の諸概念と接触する中でどのような問題を引起したか、について述べてください。

②清朝期において展開した「裁き」において、最終的に「緩決」とされた案件は、事件の発端から刑の執行までどのような経過をたどったものかを述べ、その「裁き」が持つ諸特徴について、現代日本の「裁き」と比較しながら述べてください。

③近代中国・日本における国際法の導入の背景・導入過程につき、中国固有の国際秩序観との衝突に重点をおきながら、それぞれを比較しつつ述べてください。

④20世紀前半東アジア諸地域において行われた慣習調査の意義について述べ、これに参加した日本人法学者の貢献と責任について述べてください。